

料金改定率比較表

改定率 項目	19 %	16 %	13 %	10 %
事業内容	<u>早期整備更新 (○)</u> 今後 10 年間で重要管路・円山配水池を整備 (○)	<u>今後 20 年程度で重要管路を整備 (○)</u> <u>円山配水池を H42 頃に整備予定 (△)</u>		<u>当面の値上げ幅を抑える。(○)</u>
	当面の値上げ幅が大きい。(△)	<u>13%と比較して、安全な経営が可能。(○)</u>	ボーダーラインの経営となり、安定的な事業運営は厳しい。(△)	企業債残高が徐々に増加。(△)
50 年間の料金改定回数及び、改定率	4回(○) ①19%(H32) ②8%(H48) ③8%(H57) ④6%(H69) (計 1.47 倍) (○)	4回(○) ①16%(H32) ②10%(H42) ③8%(H54) ④7%(H72) (計 1.47 倍) (○)	4回(○) ①13%(H32) ②14%(H44) ③7%(H56) ④8%(H68) (計 1.48 倍) (○)	5回(△) ①10%(H32) ②13%(H42) ③8%(H51) ④8%(H63) ⑤5%(H72) (計 1.52 倍) (△)
10 年平均の更新事業費	H30 年代 <u>10.15 億円</u> (△) H40 3.36 億円 H50 5.24 億円 H60 6.15 億円 H70 7.09 億円 計 31.99 億円	H30 年代 6.69 億円 (○) H40 6.82 億円 H50 6.16 億円 H60 6.16 億円 H70 6.16 億円 計 31.99 億円	H30 年代 6.69 億円 (○) H40 6.82 億円 H50 6.16 億円 H60 6.16 億円 H70 6.16 億円 計 31.99 億円	H30 年代 6.54 億円 (○) H40 6.97 億円 H50 5.24 億円 H60 6.15 億円 H70 7.09 億円 計 31.99 億円
	H30 年代は 10 億円を一時切り、15 億円まで上昇後、10 億円前後で推移。(○)	H49 頃に 8.6 億円まで減少。10～15 億円まで推移。(○)	7～8 億円で推移。(△)	10～15 億円で推移。(○)